

みんなの議会 おおさと

定例会

12月 3月

9月 6月

町花：つつじ

令和8年2月1日

No. 221

大郷町消防団出初式

決意新たに整列!!



- p.2 特集 新成人との座談会
- p.6 9名が町政を質す（一般質問）
- p.18 追跡レポート



大郷町をこんな町に

令和7年12月9日、*成人式運営委員と「大郷町に思うこと」や「将来の夢」について座談会を行いました。

*民法上では2022年4月1日から成人年齢が18歳に変わりましたが、大郷町では20歳で成人式を行っています。

二十歳

新成人との座談会



▲成人式の晴れ姿

大学の薬学部に在籍している。患者さんの声をよく聴ける薬剤師になりたいと思う。バイトでお客さんと接するのは楽しい。

住民バスの運行を見直してほしい。塩釜に通学していた時は1日に3便しかなかった。免許や自家用車を持っていない人には不便なのかなと思う。

派遣社員で働いている。ジュニアリーダーの経験があり、子どもと関わる仕事が好きで、児童館などで働けたらと思っている。

お祭りの情報は広報だけでは私たちの世代には届かない。Instagramなどを活用しPRの幅を広げては。道路が傷んでいて、雪道だと危ないと感じる。

大学に通っていて、教員になりたい。中高からバレーに打ち込み、今でも続けている。勉強との両立を図り、スポーツを教えられる大人になりたいと思う。

大郷に立ち寄れる場所や休める場所をもっと多く作れば、町が有名になって、人がいっぱい集まってくるのでは。

看護師を目指して大学に通学している。地震の時も冷静に対処できるように、災害看護についても学んでいけたらと思う。

築館公園の桜はすごくきれいなので、もう少しアピールすれば人が来るかもしれない。町に外国人が増えた印象。コミュニケーションを取ればいいのか。

専門学校に通い、理学療法士を目指している。来年から実習が始まる。緊張や不安もあるが、患者さんに接することが好きなので頑張っていきたい。

大郷は宮城県の真ん中にあり、石巻にも名取にも同じ時間で行ける。郷郷ランドの冬が好き。イルミネーションがすごくきれい。

看護の専門学校に通学している。実習時に患者さんから「頑張ってくれてありがとう」と言われ、やりがいを感じた。看護師になる意欲をもっと身に付けたい。

お祭りに同い年の子がいない。高校進学や卒業で大郷を離れるイメージがある。高校生から遊べる施設があれば。

看護の専門学校に通っている。小中高と卓球に取り組んだ。カナダに留学の経験もある。将来は英語と看護の資格を生かして活躍できたら。

仙台に引っ越してから大郷の魅力に気付いた。夢実の国、縁の郷の休業は残念。町外の人が楽しめる魅力的な施設があればと思う。



一般議案は条例一部改正5件、規約の変更1件、同意3件、委発1件について審議し原案のとおり可決。

- 議案第50号** 大郷町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
人事院勧告に伴い条例の一部を改正するもの。
- 議案第51号** 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
人事院勧告に伴い条例の一部を改正するもの。
- 議案第52号** 職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院勧告に伴い条例の一部を改正するもの。
- 議案第53号** 大郷町税条例の一部を改正する条例について
市町村税条例が改正されたことに伴い、目次および本則を改めたもの。
- 議案第54号** 大郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
大郷町廃棄物の処理及び清掃に関する条例（平成9年大郷町条例第2号）の一部を改正し、一般廃棄物のうちスプリングマットレス（1点につき）の手数料を400円から4000円に変更するもの。
- 議案第55号** 宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について
地方自治法の一部改正に伴い、引用条項を改正するもの。
- 委発第3号** かわまちづくり事業に関する調査特別委員会の設置について
地方自治法第109条及び大郷町議会委員会条例第4条に基づき、かわまちづくり事業に関する調査研究を目的に委員会を設置するもの。委員の定数11名（議長を除く全議員）

同意第4号

監査委員の選任



石 顕氏

〈任期〉令和7年12月8日～
令和11年12月7日

同意第3号

教育委員会教育長の任命



関 一男氏

〈任期〉令和7年12月8日～
令和8年10月22日

同意第2号

教育委員会委員の任命



高橋 幸也氏

〈任期〉令和7年12月1日～
令和11年11月30日

人事案件

第1回臨時会

1月14日

全町民に1万円の商品券を配布

一般会計補正予算（第7号）と水道事業会計補正予算（第4号）を原案のとおり可決。1億5250万4千円を追加し61億5211万1千円とする。

商品券発行事業補助金	7612万円	町内で利用できる10000円の商品券を全町民に配布（3月中に発送予定）
子育て応援手当	2910万円	18歳までの子ども1人に30000円を支給（3月に支給予定）
水道事業会計補助金	1760万円	一般住宅、企業・団体を対象に水道の基本料金を2カ月減免（令和8年1月、2月分）
非課税世帯生活支援給付金	1290万円	住民税非課税世帯へ15000円を支給（3月に支給予定）
畜産特別対策支援事業交付金	756万円	肥育牛7000円、繁殖牛3000円、乳用牛5000円（2月に交付予定）

補正予算

第6号

「ふれあい号」の入替、農業振興に

一般会計補正予算（第6号）は公用車購入費、農業振興費など8389万4千円を追加し歳入歳出それぞれ59億9960万7千円になり、3特別会計および水道事業会計と下水道事業会計の補正予算も原案とおり可決しました。

339万円

ふれあい号購入費



- 問** 内容は。
- 答** ふれあい号として利用しているプリウスは老朽化のため、7人乗りのノアを購入して替える予定としている。

671万円

町民体育館解体工事設計支援業務



- 問** アスベスト（石綿）の使用は。
- 答** 令和5年に調査を実施し、一番低いレベル3（飛散性が低い）との結果が出ている。床材を貼ったときの接着剤にアスベストが含まれていた。

1796万円

農業振興費
多面的機能活動組織交付金

8行政区の8組織に対する農業施設等の長寿命化を図る

1003万円

農地費
農村地域防災減災事業

志田谷地排水機場及び行井堂堰の施設整備に係る負担金

主な質疑

有害鳥獣対策協議会

（120万円）

- 問** 活動内容は。
- 答** 年2回の予察駆除、イノシシやクマ、鳥への対策について事業計画を定めている。見回り、駆除を行った場合は、協議会を通して報酬を支払っている。

委託型地域おこし協力隊業務

（減額520万円）

- 問** 空き家対策のための人員と伺っていたが、詳細は。
- 答** 当初想定していた団体で受け入れ体制が取れない状況である。来年度以降に活用を検討する。

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金返納金

（歳入1500万円）

- 問** 残高はいくらか。
- 答** 残りは500万円であり、来年度の予算への計上を考えている。

大松沢浄水場水位調整弁修繕業務

（121万円）

- 問** 内容は。
- 答** 大松沢の浄水場から配水池に送水するポンプの弁が故障した。応急修理で対応しているが、全面的な修繕を予定している。



有害鳥獣の被害額は

農作物被害は21件約300万円である(町長)

ささき かずお 議員
佐々木 和夫



問 今年度の捕獲頭数および被害額は。

答 町長 4月から10月までに80頭。その後、猟期に入って40頭を超え、合計で120頭を超えている。農作物被害は21件約300万円である。また、果樹や栗、水田の畦畔や用排水路の掘削被害、ビニールハウスの破損など、さまざまな被害があると認識している。

問 有害鳥獣被害防止施設購入補助事業の件数および補助金額は。

答 町長 16件の申請があり75万円の補助を予定している。

問 鳥獣被害対策実施隊の福利厚生は。

答 町長 活動中の災害に対して公務災害として補償

竹林の整備は

問 森林環境譲与税の基金の残高と活用方法は。

答 町長 令和6年度末の残高は約836万円であり、森林の整備費用や森林クラウドシステムの使用料などを予定している。

問 竹を利用した商品開発としてはどうか。

答 町長 タケノコの加工品やパウダーなどの「食品」、タケノコ掘り体験などの「観光」が考えられるが、それぞれ課題があり、今後検討していく。

問 竹の粉碎機を購入して貸出し、山林の整備を行うてはどうか。

答 町長 本町が所持した場合、購入後のメンテナンス費用や使用者がけがをした場合などの対応が想定される。機械のニーズが高まった場合、リース料の補助などを検討していく。



▲増加が懸念される竹林

議案採決結果一覧表

議案名 (略称)		採決結果	鈴木安則	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	高橋重信	石垣正博
第4回定例会	同意第2号～4号	同意	無記名投票											
	議案第50号～55号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第56号	一般会計(第6号) 59億9961万円(8389万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第57号	国民健康保険(第3号) 10億1670万円(90万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第58号	介護保険(第3号) 12億5589万円(6536万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第59号	後期高齢者医療(第2号) 1億1129万円(68万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第60号	水道事業会計(第3号) 収益的支出:2億9979万円(165万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第1回臨時会	議案第61号	下水道事業会計(第2号) 収益的支出:3億6765万円(296万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第1号	物産館の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第2号	開発センターの指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第1回臨時会	議案第3号	一般会計(第7号) 61億5211万円(1億5250万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第4号	水道事業会計(第4号) 収益的収入:2億6677万円(1760万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※賛否同数でない限り、議長(石垣正博)は採決に加わらない

次ページから一般質問

9名が町政を質す!



質問議員	質問件名	掲載ページ
ささき かずお 議員 佐々木和夫	1. 起業塾で人事交流を 2. 有害鳥獣対策について 3. 森林・竹林整備について	P7
きす しんいち 議員 金須 新一	1. 本町におけるクマ対策について 2. 町長選挙における公職選挙法違反疑い行為について	P8
かまだ あきふみ 議員 鎌田 暁史	1. スマートスポーツパーク構想について 2. かわまちづくり事業について 3. 町長の公約について	P9
あかま のりゆき 議員 赤間 則幸	1. SSP構想の実現 2. 正しい選挙運動を	P10
あつみ ふみよし 議員 熱海 文義	1. 町が管理している土地・施設について 2. かわまちづくり事業について 3. 人口減少対策について	P11
すずき けいこ 議員 鈴木 恵子	1. 倒木の安全対策強化について 2. ふれあい農園について 3. 教育長・代表監査委員不在の対応について	P12
あかま しげゆき 議員 赤間 繁幸	1. 令和8年度の財政への考え	P13
すずき やすのり 議員 鈴木 安則	1. SSP構想について 2. 防災士について	P14
すずき としひろ 議員 鈴木 利博	1. 不登校「0」への挑戦 2. 英語学習への更なる取り組み 3. トマト栽培ハウスの早期解体を	P15



かま だ 鎌田 議員
あき ふみ 暁史 議員



「ほ場整備」編入時の課題は

計画の長期化や事業費の増加など(町長)

問 SSP構想予定地のほ場整備を進める方針とする場合の課題は。

答 町長 県営のほ場整備へ改めて編入する場合は、全体計画の長期化、面積の増加による事業費の増加が課題と認識する。町単独で実施する場合、多額の事業費が生じることが想定されるため、財源確保が課題である。

問 60ヘクタールを別事業としてほ場整備するケースは。

答 農林振興課長 前川地区は既に30アールのほ場整備が実施されており、費用対効果が上がりにくい場所であるため、高収益野菜の作付で効果を上げる計画である。60ヘクタール単独では難しい。

問 予定地への企業誘致を継続する方針とする場合の取り組みは。

答 町長 企業ニーズの再確認や、多様な企業誘致の検討が必要と考えている。

問 交流人口の根拠は。

答 町長 「かわまちづくり事業制度」に登録した時点では、交流拠点施設へは年間約17万5000人の来場を見込んでおり、これは道の駅おさととの年間約60万人の来場者数に交通量の割合を乗じて算出している。

問 施設の維持管理費用は。

答 町長 指定管理者制度の活用を視野に入れ、民間のノウハウを取り入れながら、効率化と費用の抑制を図る方針としている。

問 水害リスクは。

答 町長 大雨時は、施設が冠水することを前提とした対策を講じる必要がある。水害時に容易に移動・撤去が可能な可搬式の施設や水圧による被害を軽減できる転倒式の施設の導入を検討

かわまちづくり事業

問 町長の公約

答 町長 スーパーマーケット誘致の見通しは。

答 町長 これまで複数の企業と接触し、誘致に向けた交渉を行っており、現時点においても折衝を継続している。



▲地権者の意向に沿った活用を (中粕川地区)

本町におけるクマ対策は

捕獲体制の強化に努めている(町長)

問 全国的にクマの大量出没に伴う人的被害が多発し、日本社会を揺るがしている。宮城県内においても、河北新報県内版「クマ目撃情報」のスペースが、日々増加している状況である。本町の対応や対策については。

答 町長 本町では、鳥獣被害対策実施隊として猟友会隊員が9名おり、隊長と情報共有や対応策など連絡を密にしている。クマ用の箱わな1基、クマ用のおりを2基備えており、捕獲体制の強化に努めている。

問 緊急銃猟が必要と判断される案件が発生した場合、速やかに対応できるのか。

答 町長 緊急銃猟は、住民や第三者に危害を及ぼす恐れがないよう、最大限の安全確保の措置を講じて行



き す 金須 議員
しん いち 新一 議員



問 10月28日に放送されたニュースによると、8月に初当選を果たした石川町長と支援者の男性が、公職選挙法違反の疑いで刑事告発されたとの報道があった。町長は今回の事態をどのように捉えているか。

答 町長 このような事案が発生したことについて、町議会ならびに町民の皆さまにご心配とご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。

問 当時、対立候補者選挙事務所関係者から、公職選挙法違反の疑い行為

うが、少なからず危険を伴う。また、有害鳥獣が手負いとならないよう確実に仕留めることが重要である。

問 環境省が勧める地域ごとのマニュアルが未作成であり、早急に策定すべきと考えるが。

答 町長 より具体的に体制や手順を定め、早期に対応できるように作成を進めていく。

町長選挙における公職選挙法違反疑い行為



▲クマ捕獲用のおり

挙法違反疑い行為の情報を選挙管理委員会に通報したと聞いている。選挙管理委員会はどのような対応をしたのか。

答 選挙管理委員長 選挙管理委員会事務局において、事実確認ができていなかった。法律の確認は行っている。

問 今後何らかの形で、住民の方々に説明をしていただきたいが。

答 町長 今、捜査段階にあり、そのことに影響があるので控えさせていただきたい。



旧大郷牧場の有効活用を

事業者の探索を続ける（町長）

あつ み 熱海 議員
ふみ よし 文義 議員



問 旧大郷牧場の今後の利用方法は。

答 町長 町の活性化につながる事業で土地を有効活用していただける事業者の探索を続けていく。

問 縁の郷の指定管理者を募集するのではなく、畑だけ貸出をする考えは。

答 町長 指定管理料を町で支払わなくても良い事業者などを探していく。春までは結論を出す。

問 ふれあい農園の今後の活用方法は。

答 町長 法人、個人を問わず募っていききたい。また地権者の方々の意向も伺いながら、検討していく。

かわまちづくり事業の内容は

問 粕川大橋を渡った吉田川左岸の三角地帯の活用方法は。

答 町長 交流拠点施設として飲食が可能な休憩スペースなど、来訪者の利便性に貢献できる施設としての活用を検討している。

問 河川敷にパークゴルフ場の計画があるが、大雨時の土砂堆積への対応は。

答 町長 他の自治体の事例も参考にしながら検討していく。

問 かわまちづくり事業の費用および管理費は。

答 町長 施設の内容や規模の変更が想定されるので、明確な事業費と維持管理費は示すことができない。調査や設計が整った段階で、議会に報告する。



▲旧大郷牧場の現状

人口減少対策強化を

問 町独自で用地取得・造成を考へては。

答 町長 民間企業の宅地開発の推進と併せて、町主導による用地取得および造成事業の可能性について、財政負担や将来的な需要予測を慎重に見極めつつ、調査・検討を進めていく。

空き家・空き地バンクの登録数を増やす努力を。

問 まちづくり政策課長 土地や建物の所有者に対する周知方法や、アンケート調査方法を検討していく。

問 夢実の湯の復活のため、町から協力できないのか。

答 町長 町の考えや意向を企業に伝える。

SSP構想の実現は

関係機関との協議を進めていく（町長）



あか ま 赤間 議員
のり ゆき 則幸 議員



問 スポーツX株が撤退となったが、町民が納得できるSSP構想を実現していく気持ちはあるのか伺う。

答 町長 SSP構想の方針を決定するためには、地権者の意向を再確認することが重要である。今後は、調査結果を踏まえ、計画の見直しを含め、実現可能なものとなるよう関係機関との協議を進めていく。

問 企業誘致をどのように考え、かじを切っていくのか、所見を伺う。

答 町長 町としての方針を決定後、実現に向け、関係者と調整していく。そのため、企業ニーズの再確認や多様な企業誘致の検討が必要と考えている。実施方法が固まり次第、議会へ説明させていただく。

正しい選挙運動を

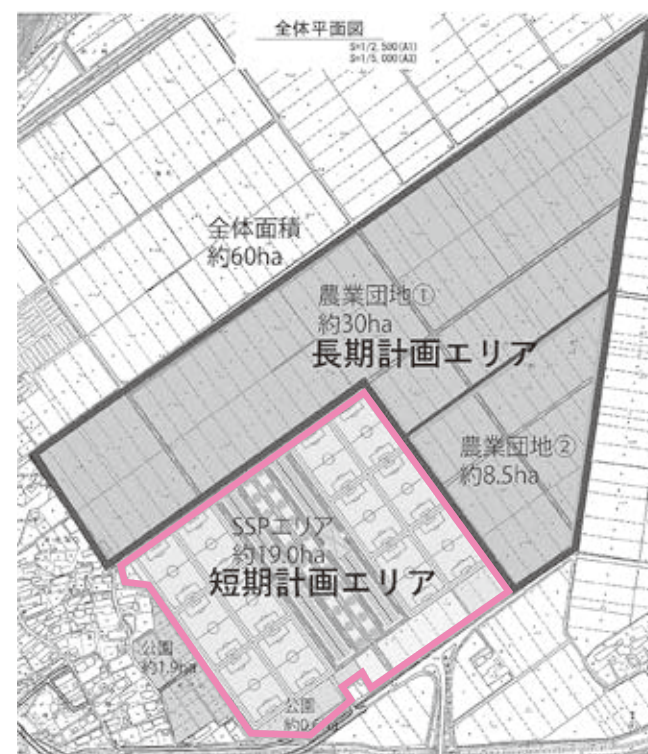
問 8月の町長選で、石川良彦町長のたすきを付けた別人が選挙運動をしたとの報道があった。

答 町長 私はその事実を把握していない。今回のこのような事案が発生したことについて、町議会ならびに町民の皆さまにご心配とご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。

問 午前8時には、選挙カーがスタートするが、20分前にその場に候補者がいなかった、知らなかった、というお話は、おかしいのでは。

答 町長 私は、いつも寸前にしか着いていなかった。仮に8時前に事務所に来たとしても、たすきをかけていた人からもらったりはしなかったのか。

答 町長 私が分からないところやっていたと先ほどお話したとおりであるの



▲宙に浮いた60ヘクタール

で、その辺は全然関係ない話のため分からない。

問 造成地に除染土を持つてくるかもと、選挙事務所で話題になっていたと聞いたが、その経緯について伺う。

答 町長 その内容を存じ上げていない。



効果的な施策の財源確保を

自主財源確保と事業の見直し（町長）

問 住みやすいまちづくりに向けた各種施策を実行していくには、財源確保が課題となる。令和8年度の予算では、どのように収入を上げ、支出を減らす考えかを伺う。

答 町長 歳入では、町税及び使用料等の収納に万全を期し、収入未済額の縮減に努め、未利用財産の活用企業誘致、定住促進、ふるさと納税の確保などによる自主財源確保を積極的に進める。

歳出では、既存事業の効果や実績の分析による事業の見直し、業務内容や繰越金等を踏まえた各種補助金の適正化、費用の削減などを徹底しながら、事業の優先順位を確認して計画的に進めていく。

あか ま しい ゆき
赤間 繁幸 議員



問 令和6年度のふるさと納税額は前年比215%と素晴らしい結果である。その要因は。

答 財政課長 返礼品提供者様と課題について意見交換を行った。また、仕組みを見直すことによって、新たに大手サイトを利用できるようになった。

問 本年度の見込み額は。

答 財政課長 返礼品の6割を占める米の用意が難しく苦戦している。今のところ、1125万円で、今年は大幅に落ちている。

問 生産者の負担軽減のため、仕分け発送を地域振興公社にお願いしては。

答 財政課長 協議はしているが、人件費などの課題がある。

問 地域おこし協力隊に依頼はできないのか。

答 まちづくり政策課長 可能かどうか確認をする。

問 道の駅でふるさと納税ができれば、納税者、生産者、公社のメリットが高いのではないか。

答 財政課長 現地決済についても公社の理解が得られるよう協議していく。



▲道の駅でもふるさと納税の現地決済を

定期的な樹木点検の実施は

倒木には速やかに対応（町長）

問 赤道・町道・公園の樹木点検の実施状況は。

答 町長 赤道は行政区長や町民の皆さまから倒木などの情報をいただき次第、伐採や撤去など早急に対応している。町道は月1回のパトロール、公園については、月1回職員が見回りをしている。

問 危険木の予防に早期伐採することはあるか。

答 商工観光課長 公園の樹木については、定期的な回りができていないが、発見した時は対処している。伐採されているのか。

問 年間に何本くらい、伐採されているのか。

答 地域整備課長 町道は令和6年度は60カ所対応、7年度は8カ所対応、冬季になると積雪で垂れ下がったりと伐採が増える。



すず き けい こ
鈴木 恵子 議員



問 道路に面した私有地の木が外に出ている場合、町としてどこまで介入、助言ができるのか。

答 地域整備課長 民地の木については、所有者の管理が原則である。町からはお願いという形で行政区長を通じて行っている。

問 公園の木伐採後、何も植樹されない。桜の苗木を植えて、桜の季節を楽しむでいたどうか対応は。

答 商工観光課長 町民の皆さまが望んでいらつしやるなら、検討しなければならぬ。

問 利用者が少なく多くの区画が空いている。今後どのように活用するのか。

答 町長 利用していただける方を募っていきたい。今後は農園のあり方について、地権者の方々の意向も伺いながら検討していく。

問 今年度で賃貸契約が終了する。地権者の方々に何らかの説明の予定は。

答 商工観光課長 年内中

ふれあい農園

一般質問

に、地権者と機会を持つように考えている。

教育長不在の対応

問 教育長が不在の状況で教育委員会の業務などは、どのような体制で進めているのか。問題はないのか。早期の選任に向けた見通しについて伺う。

答 町長 教育委員会の会

議その他教育委員会の議事の運営に関する事務は、教育長職務代理者が行い、それ以外の事務は、学校教育課長と社会教育課長が行っている。学校などの対応は各課長と指導主事が行っており影響がないように対応している。

このたび適任者が見つかったことから、今12月定例会に追加提案したいと考えている。



▲赤道沿いの危険木（羽生地区）

問 利用していない旧大郷牧場の賃料を下げてもらっては。

答 商工観光課長 今後地権者の方と話し合いになった際、賃料見直しについても考えていく。

問 本年度通園バスの運行経費補助金が大幅に削減されていることは評価すべきである。その経緯は。

答 町民課長 園と保護者の方にご理解とご協力をいただいた。



すずき 利博 議員



町が解体費用を負担しては

財政負担が生じることになる（町長）

問 大松沢地区にある（株）東北アグリヒトの園芸ハウスが、被災により放置されたままになっている。景観・地権者への影響が心配される。地代の支払いはされているのか。

答 町長 二度目の被災以降は、支払いはできていないと確認している。昨年11月末には、東北アグリヒトと町で、地権者の自宅を訪れ、現状について説明をした。

地代の支払いや今後について、今月中には地権者に具体的な説明を行う予定としている。

問 町が解体費用を負担し、現状回復をするべきでは。

答 町長 町が解体撤去するとなれば、町の財政負担が生じることになる。

英語学習へのさらなる取り組み

問 これからの児童・生徒が世の中に羽ばたく時には、英語が話せて当たり前と思われ、英語の指導が必須。ALTとの関わり方として、授業以外にも積極的に児童

に対応している。

また学校に関しては、魅力ある学校づくり、教員の指導力向上のための研究授業や視察を実施している。家庭に関しては、担任からの連絡や学校だよりを配布している。

問 不登校の児童・生徒数は県内でも上位である。今後の取り組みは。

答 町長 子どもたちが主体的に進路を選択し自立していくために、学校や家庭だけでなく、社会全体での構造的な変革が必要。不登校になる要因は、一人一人さまざまであり、状況を確認し対応している。意識調査を年3回実施し、その結果を基に対応している。

不登校「0」への挑戦

・生徒とコミュニケーションを持つべきでは。

答 町長 授業の他、学校行事に参加しているが、空き時間などを活用し、積極的に関わるように協議していく。

問 夏休みなどを利用し、国内在住の外国人世帯へホームステイできる環境を設けては。

答 町長 受け入れ先の情報を入手し、今後検討していく。

問 学校生活で、英語のみの時間を設けては。

答 町長 授業ではこれまで実施したことがない。英会話の向上には有効であると考えているので、学校側と検討していく。



▲魅力ある学校づくりを

SSP事業予定地の買い上げは

現段階で予定はない（町長）

問 9月にSSP事業が中止となり、地権者の多くが残念に思っている。事業予定地20ヘクタールは町で買い上げるのか伺う。

答 町長 SSP予定地として買収を予定していた約20ヘクタールの農地については、土地利用方針が明確に定まっていないので、現段階で町が買い上げを行う予定はない。

問 10月30日の河北新報に「事業エリアだった約20ヘクタールは、町が地権者と売買に関する覚書を交わしている」と掲載されていたが、白紙撤回ということか伺う。

答 復興推進課長 現段階では白紙ということである。

問 SSP構想予定地60ヘクタール（SSP事業20ヘ

クタールを除く）はどうするのか、伺う。

答 町長 現在、意向調査の集計を進めている段階である。

この集計結果などを踏まえ、町として今後の構想の方向性について決定していく。

問 11月に60ヘクタールについて地権者69人、3法人1団体に対してアンケート調査を実施したが、その結果を公表するのか伺う。

答 町長 公表する方向で検討している。

問 公表するのであれば地権者なのか、全町民なのか。

答 復興推進課長 まずは、地権者に早い段階で説明会を開く予定である。

問 アンケート調査については、町長は全て目を通しているのか伺う。

答 町長 全て回収していないので、まだ全部には目を通していない。

内容は担当課より聞いている。



すずき やすのり 安則 議員



一般質問

防災士

問 現在、防災士有資格者は何名か。

答 町長 自主防災組織として4名いる。

問 防災士としての役割は。

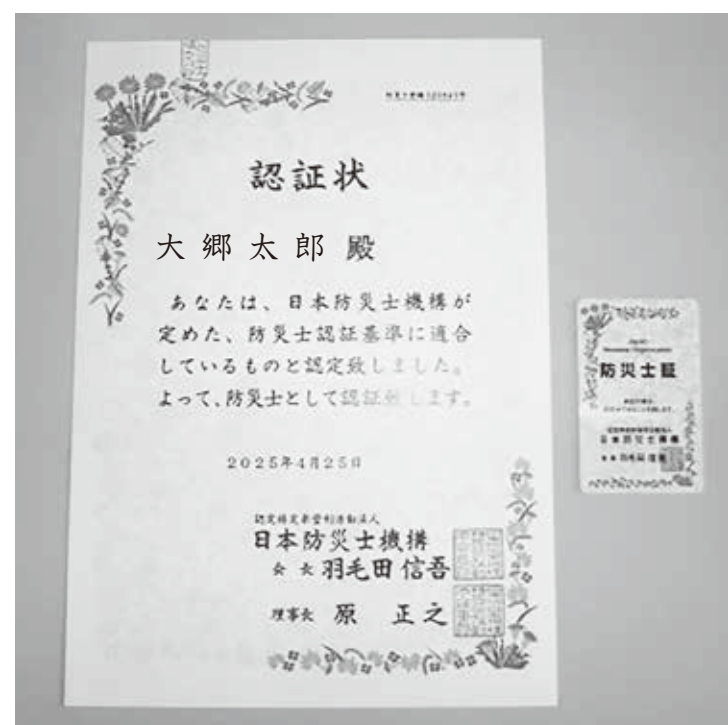
答 町長 「自助・共助・協働」の基本理念に基づき、地域や職場の防災活動を推進し、災害から人々の命と暮らしを守ることでなっている。

問 防災士の組織化の予定は。

答 町長 町内での有資格者が10名程度になったら組織化を図る。

問 4名の有資格者がいるがモチベーションの維持のために、早急に情報交換の場を設けてはどうか。

答 総務課長 4名の有資格者と早急に会合の場を持つ。



▲防災士認証状

教育民生 常任委員会

10/15
20~21

教育環境について調査



▲宮城県色麻町役場にて

【調査の概要】

令和7年10月15日(水)役場3階第3委員会室において、学校教育課長より本町における教育内容の充実や対策の現状について、さらに20日(月)宮城県色麻町教育委員会および山形県戸沢村立戸沢学園、21日(火)山形県舟形町教育委員会より、①学校教育の方針や特色・力を入れている取り組みについて、②不登校児への取り組みについて、③家族・地域等への取り組みについて、④義務教育学園や小中一貫校の取り組みについて、説明を受け調査した。

【意見】

児童生徒数の減少に伴う学校の統廃合や校舎の建替え問題などは、多くの自治体で課題となっている。少子化が進む過疎地域における新しい学校の形として、小中一貫教育や義務教育学校(学校教育法改正：2016年に新設)という新しい学校教育制度がある。早い時期から取り組んでいる先進事例3自治体・3校について視察し、1年生から9年生までの一貫教育の特徴や、地域の特性や人材を活かした教育内容、学校を支える地域との連携の在り方などを学ぶ機会を得た。

・本町の出生率や人口減少の現状から、小学校は10年後に、中学校は13年後に各学年1クラスになると予測され、経年により校舎の老朽化が進むことは避けられない。小中学校の施設環境や教育に係る人材の共有化と、地域の特性を活かし一貫した教育環境を提供する意義は、少子化が進む過疎地域における選択肢の一つとして、今後ますます必要性が増すものと考えます。
・今回先進事例を視察し、小中一貫教育を実現するには、町全体としての長期的展望や計画を練り上げ、財源確保も重要である事が分かった。現在、本町において小中一貫教育の検討はされていないが、本町の将来を見据えて検討委員会を立ち上げる等の準備が必要と考える。

次回は「長寿命化対策の取り組みについて」を調査します。

総務産業 常任委員会

11/6~7

防災について調査



▲群馬県吉岡町役場にて

【調査の概要】

令和7年11月6日(木)に群馬県吉岡町役場、11月7日(金)に茨城県五霞町役場を訪問し、防災に対する取り組みを調査した。

【意見】

・地域ごとの災害リスクを理解するために、ハザードマップの活用は大切である。吉岡町が発行する防災ハザードマップはB4版32ページで、字が大きく見やすいので参考にされたい。

・吉岡町では、他市町村との相互応援協定や各種の応援対策業務に関する協定を地方行政機関や民間企業等と結んでおり、令和7年4月時点で44に及ぶ。本町でも積極的な締結を検討されたい。

・災害に強いまちづくりを目指すためには、定期的な職員訓練を実施し、防災計画の実効性を検証することが重要と考える。五霞町では、防災訓練の他に、職員訓練を実施している。本町でも取り組みの強化を検討されたい。

・五霞町では、炊き出し訓練を実施し、食料提供の依頼、物資の運搬依頼、炊き出し依頼の流れを確認している。避難所の「食事の質」を確保するために、本町での取り組みの参考にされたい。

・両町においても、消防団員数の減少が課題となっていた。広報・啓発活動として秋祭りや防災イベントでの団員募集活動や条例の改正により、分団数を変更せずに定数を削減する対応を行っていた。消防団員の充足に向けて参考にされたい。

次回は「有害鳥獣対策について」を調査します。

11/4

宮城黒川地方町村議会表彰式並びに議員研修会

場所：松島町 パレス松洲

講演「令和の時代を担う地方議会のあり方」

議会運営アドバイザー 山形県町村議会議長会 参与 武田 裕樹 氏



11/14

宮城県町村議会議長会議会広報研究会

場所：宮城県自治会館

講演「議会の見える化 住民の参加・協働 & 認知・信頼関係～議会広報の企画と編集～」

議会広報サポーター 芳野 政明 氏



12/17

黒川地方市町村議会議員研修会

場所：大和町

講演「子どもたちが輝くまちづくり！」

利府町文化交流センター「リフノス」 センター長 野澤 令照 氏



視察を受けいれました

10/29 愛知県飛島村議会

視察
内容

- ・子どもの一時預かり事業について
- ・「道の駅おおさと」の運営について



議会の主な動き (10/1～12/31)

月 日	用 務	月 日	用 務
10/2～3	宮城黒川地方町村議会議長会正副議長並びに事務局長合同視察研修(山形県川西町、福島県伊達市)	11/18	議員全員協議会
10/9	広報広聴常任委員会		おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会・議会運営委員会
10/12	粕川地区復興まちづくり竣工式	11/19	宮城県町村議会議長会議(仙台市)
10/15	宮城県黒川地方町村議会議長会定例会議(仙台市)	11/21	黒川地方市町村議会連絡協議会議員研修会実行委員会(富谷市)
	教育民生常任委員会	11/25	議会運営委員会
10/16	広報広聴常任委員会	11/26	黒川地域行政事務組合議会運営協議会(大和町)
10/19	大和駐屯地創立69周年記念式典 [大和町]	12/2～5	第4回定例会
10/20～21	教育民生常任委員会[色麻町、山形県戸沢村、舟形町]	12/3	議員全員協議会・議会運営委員会・広報広聴常任委員会
10/22	黒川地域行政事務組合議会運営協議会・臨時会[大和町]	12/5	おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会
10/23	仙台北部道路建設促進期成同盟会要望活動[仙台市]		おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会
10/28	宮城県議会・市町村議会議員セミナー[仙台市]	12/9	広報広聴常任委員会(新成人との座談会)
10/29	行政視察受入(愛知県飛島村)	12/15	広報広聴常任委員会
11/2	おおさと秋まつり	12/17	黒川地方市町村議会連絡協議会議員研修会[大和町]
11/4	宮城黒川地方町村議会表彰式・議員研修会[松島町]		黒川地域行政事務組合議会定例会議[大和町]
11/6～7	総務産業常任委員会[群馬県吉岡町、茨城県五霞町]	12/22	宮城県町村議会議長会議・県知事と町村議会議長との意見交換会(仙台市)
11/14	宮城県町村議会議長会議会広報研究会[仙台市]	12/23	広報広聴常任委員会

皆様方には、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃より町議会活動に對しまして、ご支援・ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

今年の干支は午年（うまどし）「新しい挑戦を恐れず、積極的に行動すること、飛躍できる年」とあります。議員12名今年も全力で、町発展のため努力してまいり所存です。

さて昨年を振り返りますと様々なことがありました。SSP構想に多くの時間が費やされ、最終的には、町長選挙で石川新町長が誕生、さらにSSP事業を計画していたスポーツX社が事業を断念しました。

また、令和元年の台風19号で、旧粕川小学校南側堤防決壊（吉田川）により、粕川地区が多くの被害を被りました。堤防の決壊部分が、発災後6年目にしてやっと完成し、堤防整備が完了しました。

さらに中粕川地区の復興の象徴とも言える「大郷町粕川地区防災コミュニティセンター」も完成し、町の防災拠点として今後の役割が大いに期待されます。

ハード面は充実されたものの、被災された皆様には心癒される安定した日々が続きますようお願いいたします。

皆様にとって、本年も実り多き年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

賀正



大郷町議会議長
いし がき まさ ひろ
石 垣 正 博

新たなものに挑戦を



本年もよろしくお願い申し上げます

定例会年間予定表

定例会	期 間	会期日数
令和8年 第1回定例会	令和8年3月4日（水）～19日（木）	16日
令和8年 第2回定例会	令和8年6月2日（火）～5日（金）	4日
令和8年 第3回定例会	令和8年9月3日（木）～18日（金）	16日
令和8年 第4回定例会	令和8年12月1日（火）～4日（金）	4日
令和9年 第1回定例会	令和9年3月4日（木）～19日（金）	16日

※定例会の会期は都合により変更になることがあります。
※土曜日、日曜日及び休日には休会となります。



その後どうなった...

第97回

tracking report

追跡リポート



県道・町道の修繕を

これまでの意見・提言等

- ・県道の改修について、早期対応を県に要望されたい。
（令和7年3月定例会 予算審査特別委員会 意見提言より）
- ・町道の計画的な維持管理を図られたい。
（令和7年9月定例会 決算審査特別委員会 意見提言より）

その後の対応と今後の計画

- ・県道の改修については、今年度、県に対し要望活動を行い、利府松山線（東成田工区及び大松沢工区）、石巻鹿島台色麻線（大松沢工区）、大和松島線（中村工区）の3路線（合計1.9km）の修繕を実施していただいております。今回の修繕は全面的な修繕ではないため、今後も、継続的な修繕について要望活動を行ってまいります。
- ・町道の計画的な維持管理については、現在、道路パトロール結果等による局所的な維持工事を行っておりますが、今後、全町的な維持管理計画策定に向け、道路状況の基礎調査実施を検討してまいります。

地域整備課



▲町道の舗装工事（貝柄塚）

ふるさと納税の増収を

これまでの意見・提言等

- 山形県舟形町を参考に考えれば、返礼品作業を「おおさと地域振興公社」に委託し、お米をもっとアピールしていくことが大事ではないか。
（令和6年3月定例会 一般質問より）

その後の対応と今後の計画

現在、ふるさと納税の増収に向けて地域振興公社や農業法人等との意見交換会を重ね、発送の一元化や少量区分の追加、先行予約制度の導入などや、返礼品としてさらに米を提供できるような仕組みづくりを検討しています。また、令和7年9月にはふるさと納税PRイベントに参加し、返礼品の試食を通じて大郷町の地域産品の魅力を発信することで、町の認知度向上に努めました。今後も、御礼状の工夫等によるさらなるリピーター獲得、メールマガジンやSNSを活用した情報発信を強化し、ふるさと納税の増収につなげてまいります。

財政課



▲ふるさと納税PRイベント（東京都豊洲）

この町に学びの場を



さかい じゅんや
坂井 純也 さん
(中粕川)

私は、18年前から仙台市でフリースクールや学習塾、家庭教師や子ども食堂をしていましたが、出会いや、つながりに導かれるように、この地に移り住みました。

ここでの暮らしは、いずれ訪れるであろう未来の日本の姿を映しているように感じています。行き過ぎた競争意識がなく、牧歌的でゆるいつながりが維持されつつ、季節ごとに変化する土の香りが大郷町の人々の呼吸と照応しています。

現在、出会った子どもたちが、どんな状況に置かれてもなお、自分の人生にイエスと言えるように願い、学習面でのサポートをしています。その願いを、関わり合いの中に残し、受け渡すように日々の活動に取り組んでいます。教育の空白エリアとも呼べるこの地域には、新たな芽が育つ余白があり、可能性に満ちています。この地に、学びが生まれる場を、皆さまのお知恵を借りながら、共に創り出していきたいです。

お詫びと訂正

220号に掲載した記事に誤りがありました。

内容を訂正し、お詫び申し上げます。正しくは次のとおりです。



P 7

町当局へ17項目の意見を提言

不納欠損の未然防止を

不納欠損に至らないように引き続き努力されたい。

問 不納欠損にならないための対策は。

委員会を設置しました

かわまちづくり事業に関する 調査特別委員会

委員長 金 須 新 一

副委員長 田 中 三恵子

【目的】

かわまちづくり事業に関する調査研究

【委員の定数】

11名（議長を除く全議員）

次回 定例会

予定

3月4日(水)から
午前10時～
3月19日(木)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



広報広聴常任委員会

			委員長	副委員長	委員
田中三恵子	鈴木恵子	赤間繁幸	鈴木安則	鎌田暁史	高橋重信

編集後記

新年を迎え、町民の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

少し遅めのご挨拶となりましたが、本年もよろしくお願ひいたします。昨年末には、20回目を迎えた町民劇の鑑賞と、新成人の皆さんとの座談会に参加する機会がありました。大郷町の文化・芸術の豊かさ、未来を担う若い世代の力強さを、改めて感じるひとときとなりました。

若い世代の率直な声からは多くの気付きを得ることができ、これからの議会活動にしっかりと生かしてまいりたいと思います。鈴木恵子